



四万十町
町内「ふら〜り」散策

弘瀬

ひろ
せ



白へび様の祠



大元神社

和にあるのが「弘瀬」こちらは「弘瀬」と記す。旧窪川町と旧大正町との境にある弘瀬トンネルの西側を四万十川に沿って家地川方面に入ったところから弘瀬である。地図を広げてみると半島の北東半分は旧窪川町になる。南西側の四万十川沿いに民家が点在している。対岸にも数件の民家があり、弘瀬地区を形成している。

この地区は「弘瀬」と「弘瀬本村」という二つの自治組織に分かれている。上流下流という地域で分かれているのではなく、好きな方に所属できるというところが面白い。両方併せて28世帯ほどの集落である。何といっても、日当たりが抜群。特に半島側は一日中ばっちり陽がある。国道からは離れているので、行き交う車の音も聞こえない。たいへんのどかである。

地区の氏神様は大元神社。鳥居の脇にある狛犬と、狛犬のすぐそばにある神社前のバス停の可愛らしい表示がとてもマッチしている。家地川方面にしばらく行くと、向弘瀬沈下橋がある。他の沈下橋に比べると、橋脚が低く水面に手が届きそうな気がする。周りにあまり人工物が無く、四万十川にかか

る沈下橋周辺の風景としては、間違いなく上位にランキングである。北東側の丘陵地帯には、国営のパイロットファーム等の農地が広がる。全て合わせるとかなりの面積になる。それらの農地へ上がる道の脇に、大きな2本の榎の根元に挟まれた、素朴で小さな祠がある。地域に伝わる伝説「白へび様」が祀られているそうだ。

さて、町内のほとんどの集落がそうであるように、地区の高齢化率は高い。その昔は、夕方になると四万十川で遊ぶ子どもたちの声途切れなかったという。北ノ川小学校・中学校の校区で、現在1名ずつが通っているが、春になると、この地区から久しぶりの小学1年生が通い始める。地域の子どもの成長は、それだけで地域の喜びである。



向弘瀬の沈下橋

町のうごき	(1月31日)		人口		前月比		出生		死亡		転入		転出		
	男	女	計	世帯数	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
	9,027	10,138	19,165	8,796	-4	3	6	18	3	37	17	29	46	6	10

(1月中の届出)

四万十川の 水質状況	適正值(mg/l)	2月12日
リン酸	≤ 5.0	測定値以下
硝酸	≤ 0.5	1.228
アンモニウム	≤ 5.0	測定値以下
アニオン活性剤	≤ 1.0	0.500
化学的酸素消費量	≤ 10.0	2.200

調査：大正（吾川）
資料：四万十高校自然環境部

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/> ●
※ 広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)